

第4回宗像市立地適正化計画策定委員会議事録

平成28年10月21日(金) 10:00~11:30

宗像市役所3階 304会議室

出席者

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
黒瀬 重幸	出	日高 圭一郎	出	辰巳 浩	出
小林 裕美	欠	岡本 卓也	出	田中 隆一	出
森 眞一	出	黒川 貞一郎	出	関野 成人	出
國廣 由佳	欠	酒井 了	欠	岩永 和久	欠

印は会長、 印は副会長

1. 開会あいさつ

黒瀬会長から挨拶

2. 前回の協議内容と今回の協議内容

質疑・意見

民間バスのサービスが減少した部分をふれあいバスとコミュニティバスで補うとなっているが、民間バスの赤字補填をすることも検討してはどうか。

・そのようなケースも検討していく。

公共交通のアクセス数の目標値の設定方法を現在の本数をベースにするのではなく、より具体的に検討してはどうか。

・独自の選考方法を検討し、今後の委員会で議論させていただきたい。

3. 審議事項

議題1：誘導区域及び誘導施設等の検討(提案)

質疑・意見

子育て機能や介護福祉機能はすべての拠点に誘導すべきだと思われるが、どうか。またなぜ教育大前に金融機能が一つだけ入っているのか。

・拡充を図っていくべき、あるいは不足をしているというようなところに割り振りをしていきたいというのが基本的な考え方である。

・金融機能について、教育大前駅周辺が少し不足しているように感じているため、提案させていただいた。

特定の地域に介護福祉機能を誘導するという記述を見ると、イメージとしてその地域は明るい未来がないという感じを受ける。コンパクトシティを作るのなら、各拠点にすべての機能を持たせるべきだと考えるため、この地域はこの機能を、というのはどうかと思う。

- ・ご指摘のとおり。高齢の方々や若い世代の方々や子供たち、そういった方々が共生して暮らしやすいまちづくりというのが必要だと考えているため、そういったイメージも踏まえ、検討していきたい。

マスタープランや拠点概要から見た各拠点の役割という表記は各拠点の役割分担のよう捉えられと思う。また、現状何があり、何が足りないというのを整理すると今後誘導すべき施設がわかりやすくなるので、そのような点をふまえ見やすい資料にしたい。

- ・ご指摘を踏まえ、表現の仕方を検討したい。

現状を見て各拠点の役割を考えているが、マスタープランは20年ぐらいの長いスパンを考慮して計画されたものである。現時点の状況だけでなく、今後将来どう変わっていくかということ踏まえた議論が必要なのではないか。

- ・将来的に何が必要だということ踏まえ、再度必要とすべき施設等について検討していきたい。

介護福祉機能が通所型、入所型、訪問型と3パターンに分けられている。ある拠点に誘導するイメージはわかるが、訪問型や入所型は、場所は比較的どこでもいいのではないか。

- ・当初は分けずに示そうとしたが、重複する部分が多く資料が見つらなくなるため、便宜上3パターンに分けさせてもらった。ただ誘導を図る上ではご指摘のとおりで、入所型と訪問型は考え方が近いため、誘導エリアも近いところになるよう明示している。

議題2：次回の日程

年明け1月を予定している。